

●**國學院大学 文学研究科史学専攻**

## 「高度博物館学教育プログラム」の事例 &lt;人社系&gt;

**具体的に何を実施し、何が困難であったのか**

本プログラムでは、当該分野の大学教育に係る研究教育者および高度専門職業人の輩出を目指して、全期間で5年次におよび教育カリキュラムを設計した。そして、所定の要件を満たした大学院生に対して、2年次（博士課程前期修了）、最終5年次（博士課程後期修了・満期退学）にはそれぞれ独自資格を授与することで、中間到達目標を明確にした。しかしながら、今回の文部科学省採択プログラム期間は実質的に2年半にとどまるものであったため、そうしたカリキュラムの特性を必ずしも十分に発揮しきれない部分が存在した。

**苦勞したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか**

今回の文部科学省採択プログラム期間の2年半は、特に博士課程前期大学院生に対してはプログラムの特色ある教育機会を十分に提供し、またそれに見合う所期の目標である資格授与者数・専門的業種就職数に結びつけることができた。しかしながら、博士課程後期大学院生に対しては、プログラム開始以前の入学者も含めて、2年半という期間はプログラムの特色ある教育機会を十分に提供し、それらの成果を資格や学位取得・就職に反映させるにはやや短いものであった。

**どのように対応し、そのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか**

今回の文部科学省採択プログラム期間は2年半という限られたものであったため、プログラム期間終了後の大学院生に対する教育体系の維持提供がプログラム期間中から検討課題として担当者間で検討が深められていた。また、大学当局の支援により、プログラム期間中の体制をさらに質的に充実させて後継事業に取り組んでいる。博士課程後期大学院生に対しても、現在本格的に今回のプログラムの教育機会を十分に提供することができており、こうした前項の問題点の改善がすでに進みつつある。